

潮香だより



第 1 2 号

発行日：令和2年2月21日(金)
発行責任者：校長 坂本 貴洋

「学校評価アンケート」 ありがとうございました！

11月に実施しました「学校評価アンケート(保護者及び児童)」の結果についてお知らせいたします。

学校では、これらを次年度の教育課程の編成に生かすとともに、課題解決の方策などを探り取り組んでまいります。

※調査期間：令和元年11月6日～11月14日
(回収率 保護者91%、児童99%)

- A：しっかりできている。よくあてはまる。
- B：どちらかといえばできている。おおむねあてはまる。
- C：どちらかといえばできていない。どちらかといえばあてはまらない。
- D：ほとんどできていない。全くあてはまらない。

※A+Bが90%を超えている項目は、概ね達成できているとし、A+Bが80%未満の項目は、課題のあるものとして考察を行いました、なお調査結果の詳細は、裏面をご覧ください。

【児童用アンケートから】

- 達成できていると思われる項目
 - ・学校生活の充実(学習・遊び・係り活動等)
 - ・友だち関係
 - ・自己肯定感
- 課題であると思われる項目
 - ・自己有用感
 - ・発表力、コミュニケーション力
 - ・家庭学習の充実
 - ・気軽に相談できる雰囲気づくり

【保護者用アンケートから】

- 達成できていると思われる項目
 - ・学校教育の充実(学習・生活・体力作り等)
 - ・情報の発信
 - ・教育環境の充実
 - 課題であると思われる項目
 - ・思いや考えを伝える
 - ・学習理解
 - ・体力の低下
 - ・家庭学習の充実
 - ・基本的生活習慣
- } 子どもの様子から

【考察】

児童及び保護者の皆様からのアンケートで共通する課題について、以下の2点で考察します。

①授業の改善

学校では、今年度も友だちやその他の人の前で発表することについては、人とかかわるコミュニケーション力の育成につながるものであるととらえ、授業はもとより全ての教育活動で重点的に取り組んできました。特に「自ら学び、共に高め合う子どもの育成」をテーマに掲げ、授業の改善に取り組んでいるところです。一単位時間の授業では、ペア・小グループ・全体で考えを交流する場を設定し、自分の考えに自信を持たせるようにしています。引き続き、言語活動の充実を図り、問題解決の力や表現力・思考力・判断力が身につけられるような授業づくりを行っていきたいと考えています。

②基本的生活習慣の育成と家庭学習

三学期の始業式、校長講話の中で「凡事徹底(ぼんじてってい)」という話をしました。当たり前のことを当たり前にする・当たり前のことを徹底的に極める、という意味です。

ゲーム・パソコン・スマートフォン等のメディアの急速な発展により、子ども達を取り巻く環境も大きく変化したことから、基本的生活習慣の乱れが生じてきたと考えられます。特に、不規則な起床・就寝時間から学校に来られない、授業に集中できないなど、悪循環になっているようです。当然、家庭学習も滞り学力の低下につながりかねない深刻な状況になってしまいます。具体的な方策等については、4月のPTA総会時にお話をさせていただきますが、現時点では下記の点について、学校とご家庭とで連携をしていきたいと考えています。

- ・ 生活のリズムの確立
(起床時刻と就寝時刻・朝食の摂取)
- ・ ネット・ゲーム依存にならないために
(時間等ご家庭でのルールの確立)
- ・ 家庭学習の習慣化
(自己マネジメント力の育成)